



将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



もくじ

2018年9月期 決算の概要	.3p
2019年9月期 業績見通し	.18p
当社の事業戦略	.21p
ESGへの取組み	.26p

2018年9月期 決算の概要

2018年9月期 決算ハイライト

1. 30%の大幅増収を達成

- 売上高 17,032百万円（前年同期比 +3,876百万円 +29.5%）
- 2018年4月の新園開設を主因とした在籍園児数の増加（1月当たり平均園児数：5,619名→6,714名）および市区町村からの家賃補助や処遇改善のための助成金が大幅に増加したことが主な増加要因

2. 経常利益は30%の大幅増

- 営業利益 337百万円（前年同期比 △69百万円 △17.0%）
 - 国を挙げた処遇改善施策により人件費が増加したほか、事業譲受等による業務委託費の増加、租税公課の増加により販管費が膨らみ営業減益となった
- 経常利益 1,917百万円（前年同期比 +439百万円 +29.7%）
 - 開設補助金の増加による営業外収益の拡大が寄与

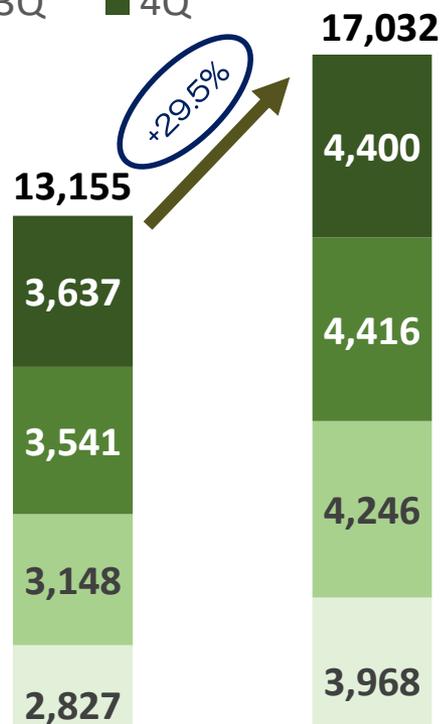
3. 減損損失を計上

- 当期純利益 559百万円（前年同期比 △232百万円 △29.4%）
- 将来の待機児童解消を前提に入所率等を保守的に見積り収支見通しを慎重に検討した結果、一部施設について投資回収期間の長期化により減損損失1,268百万円を計上

2018年9月期 業績概要

売上高

1Q 2Q
3Q 4Q

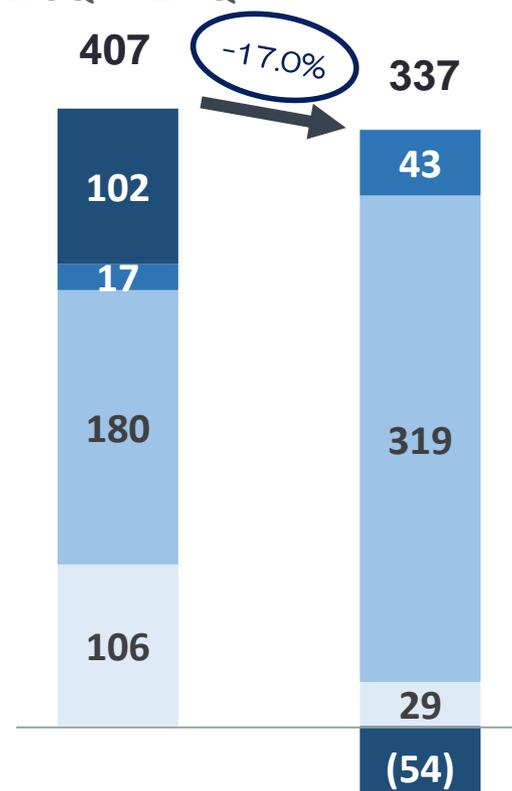


2017/9期

2018/9期

営業利益

1Q 2Q
3Q 4Q



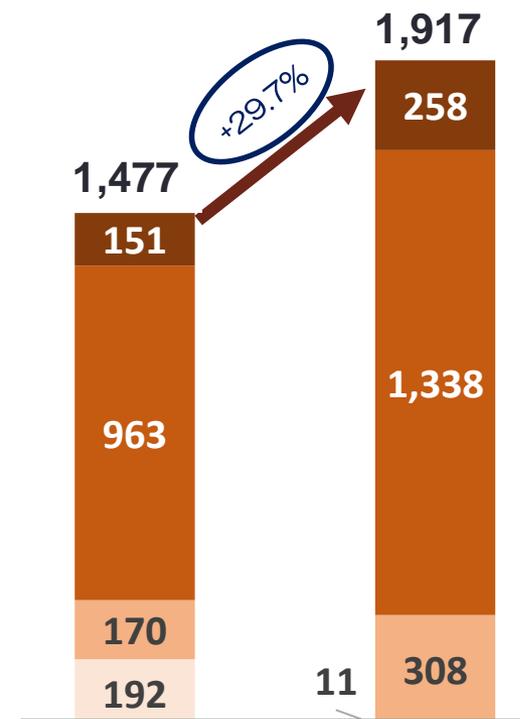
2017/9期

2018/9期

経常利益

1Q 2Q
3Q 4Q

単位：百万円



2017/9期

2018/9期

損益計算書 前期比増減要因

	2017.9期		2018.9期		
	(百万円)	%	(百万円)	%	前年比
売上高	13,155	100.0%	17,032	100.0%	29.5%
売上原価	11,053	84.0%	14,703	86.3%	33.0%
売上総利益	2,102	16.0%	2,328	13.7%	10.8%
販売費及び一般管理費	1,695	12.9%	1,990	11.7%	17.4%
営業利益	407	3.1%	337	2.0%	△17.0%
営業外収益	1,594	—	2,014	—	26.4%
営業外費用	523	—	435	—	△16.8%
経常利益	1,477	11.2%	1,917	11.3%	29.7%
特別損益	△228	—	△1,273	—	—
税引前当期純利益	1,248	9.5%	643	3.8%	△48.5%
法人税等	457	—	84	—	△81.6%
当期純利益	791	6.0%	559	3.3%	△29.4%

[売上高]

- ◆ 園児数増加と公定価格改定により22.8億円増加
- ◆ 処遇改善のための助成金増額で7.8億円増加(うち一時的要因2億円)
- ◆ 東京都の一部自治体で新規に支給が開始するなどにより家賃補助が4.9億円増加

[売上原価]

- ◆ 処遇改善の助成金に伴う人件費は8.2億円増加(うち一時的要因は3.4億円)

[販管費]

- ◆ 業務委託費や租税公課が膨らみ2.9億円増加
- ◆ 売上高増加に伴い販管費率が低下

[営業外収益]

- ◆ 補助金が多額の施設があったため、新規開設に伴う補助金収入が4.2億円増加

[特別損益]

- ◆ 将来の待機児童解消を前提に入所率等を保守的に見積り収支見通しを検討した結果、一部施設について投資回収期間の長期化により減損損失12.7億円を計上

損益計算書 開示予想比増減要因

	当初予想値 (11月発表)	修正予想値 (5月発表)	2018.9期実績	
			(百万円)	達成率
売上高	16,245	17,000	17,032	100.2%
売上原価	13,720	14,350	14,703	102.5%
売上総利益	2,525	2,650	2,328	87.9%
販売費及び 一般管理費	2,247	2,280	1,990	87.3%
営業利益	278	370	337	91.4%
営業外収益	1,594	1,900	2,014	106.0%
営業外費用	533	570	435	76.4%
経常利益	1,339	1,700	1,917	112.8%
特別損益	0	△20	△1,273	—
税引前 当期純利益	1,339	1,680	643	38.3%
法人税等	484	530	84	—
当期純利益	855	1,150	559	48.6%

修正予算比 主な要因

[売上高]

◆ 想定どおり推移

[売上原価]

◆ 売上原価は、下記要因にて修正予算比増加
 ✓ 職員数増加により人件費が上振れ食材費の上昇により給食費が上振れ
 ✓ 社宅利用者の増加により地代家賃が上振れ
 ✓ その他、採用費、水道光熱費などが上振れ

[販管費]

◆ 将来に向けた投資（業務委託費、広報費等）の次期への後ずれで販管費は予想を下回る

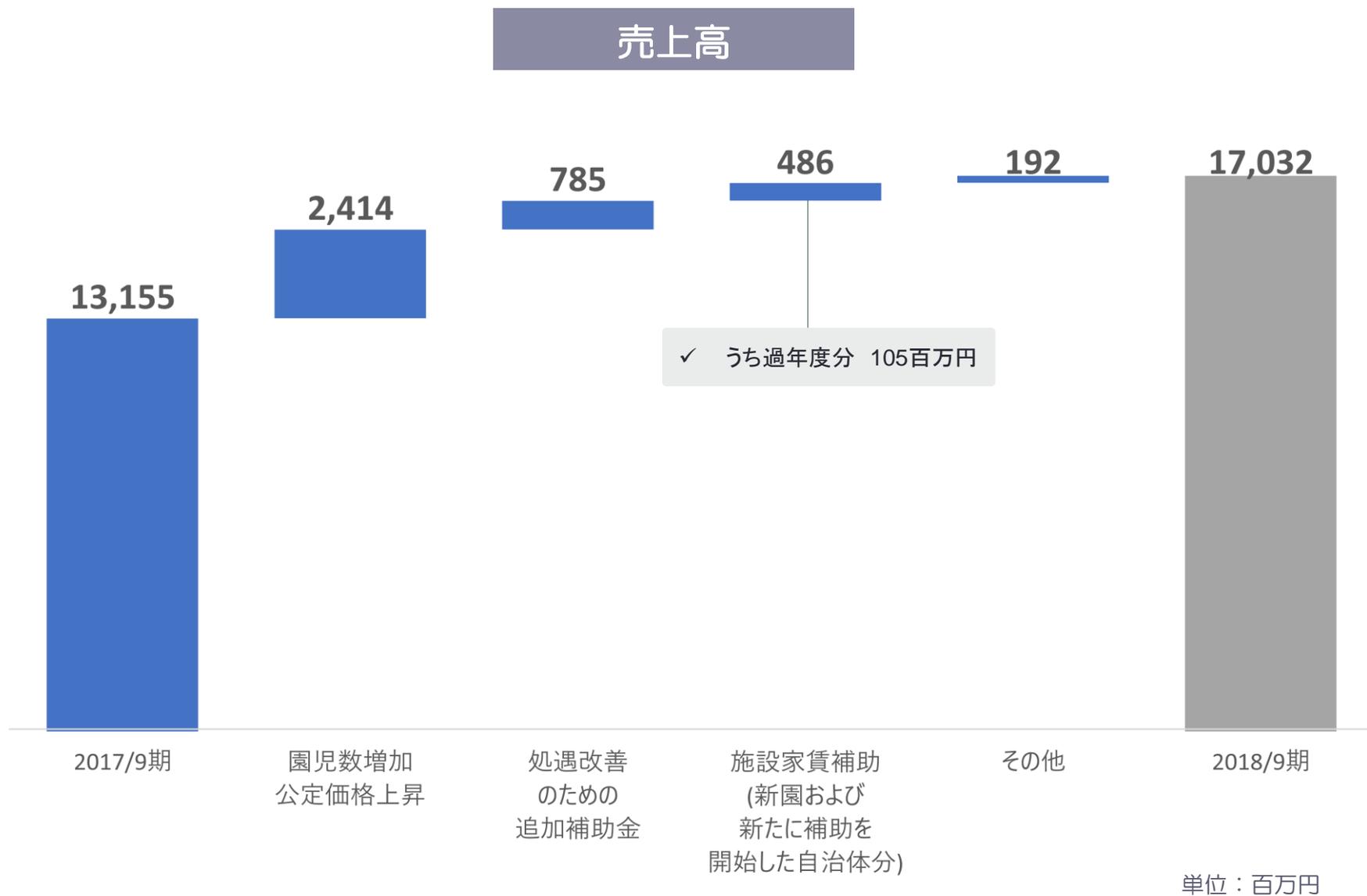
[営業外収益]

◆ 新規開設に伴う補助金収入が想定以上に支給された施設があり営業外収益が想定を上回る
 ◆ 一方で開園コストを抑え、営業外費用が計画を下回る

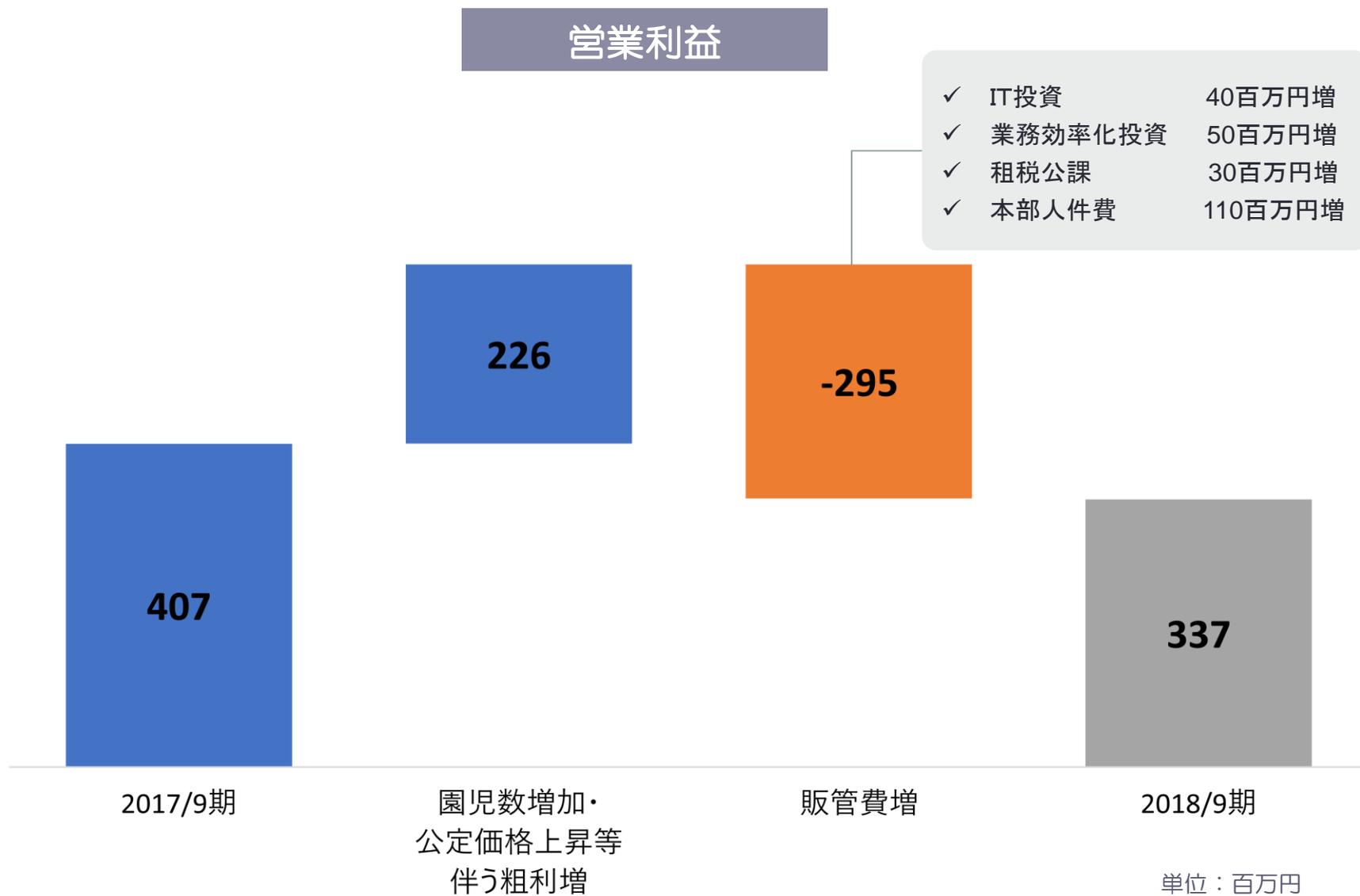
[経常利益]

◆ 以上の結果、経常利益は予想を2.2億円上回る

2018年9月期 売上高前期比増減要因

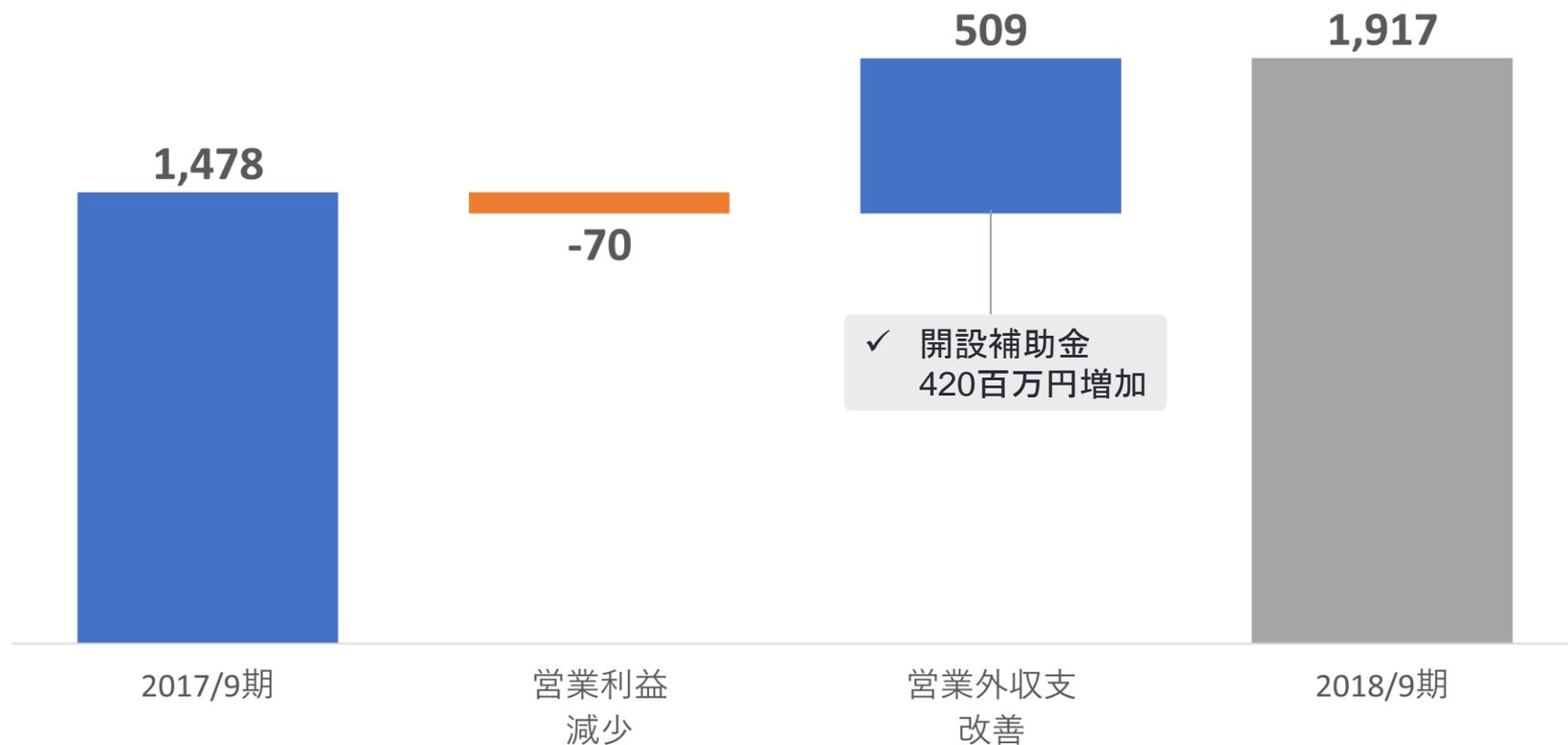


2018年9月期 営業利益前期比増減要因



2018年9月期 經常利益前期比増減要因

經常利益



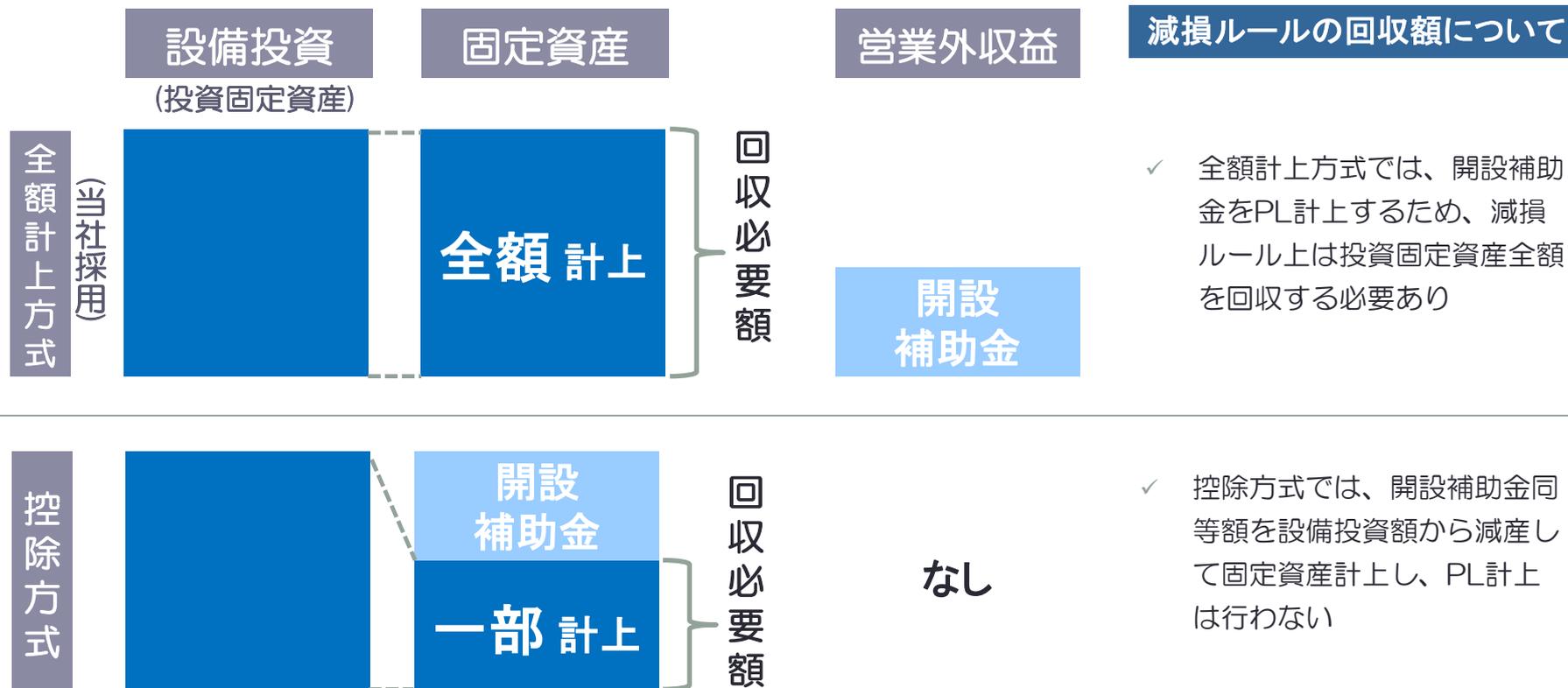
単位：百万円

減損損失について

◆2018年9月期減損損失について

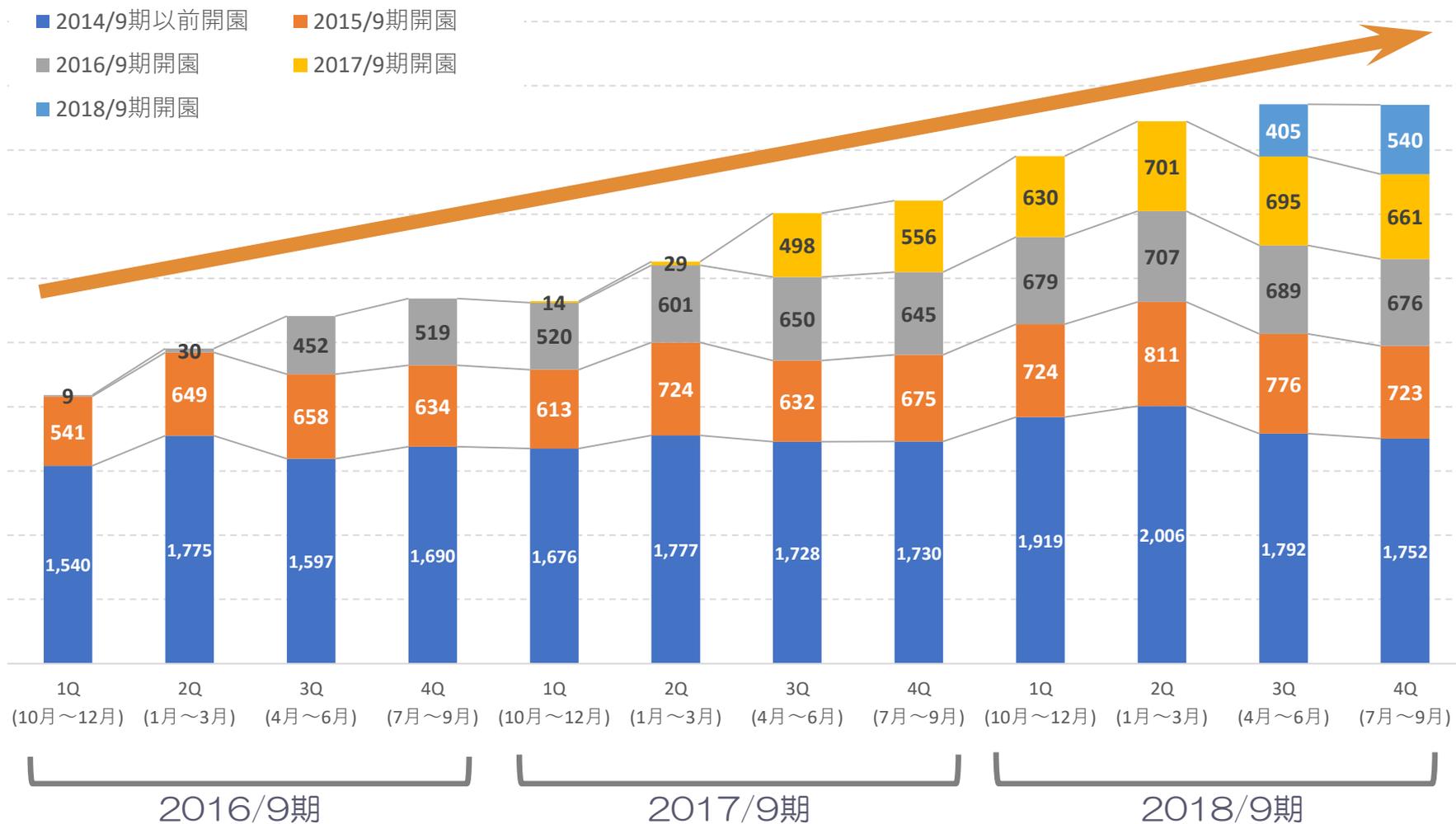
- 将来の待機児童解消を前提に入所率等を保守的に見積り、投資回収期間の長期化が想定される保育施設に係る固定資産について減損処理を行った
- 一部施設について設備投資に係る開設補助金の受領により大半を回収しており、投資キャッシュ・フローは回収見込み

◆補助金を活用した固定資産の計上方法について



開設期別 四半期毎売上高の推移

■ 2018年9月期第4四半期の売上高は、前年同期比21%増加



単位：百万円

貸借対照表

(単位:百万円)

	2017.9期末	2018.9期末	
			増減額
流動資産	2,436	3,264	827
現預金	1,246	1,301	55
固定資産	11,314	12,427	1,113
有形固定資産	8,789	9,711	922
資産計	13,750	15,691	1,940
流動負債	2,472	3,095	623
固定負債	5,353	6,017	663
負債計	7,826	9,113	1,287
純資産	5,924	6,577	652
負債・純資産計	13,750	15,691	1,940
有利子負債	4,167	5,133	966
自己資本比率	43.1%	41.8%	—

[資産]

◆ 新園投資に伴い、固定資産が
11.1億円増加

[負債]

◆ 長短借入れ増額により、流動負債
および固定負債が増加

[有利子負債]

◆ 新規開設に伴う借入れにより増加

[自己資本比率]

◆ 借入実施により自己資本比率がや
や低下

(注) 2018/9期より、「税効果会計に係る会計基準の一部改正」を早期適用し、
前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

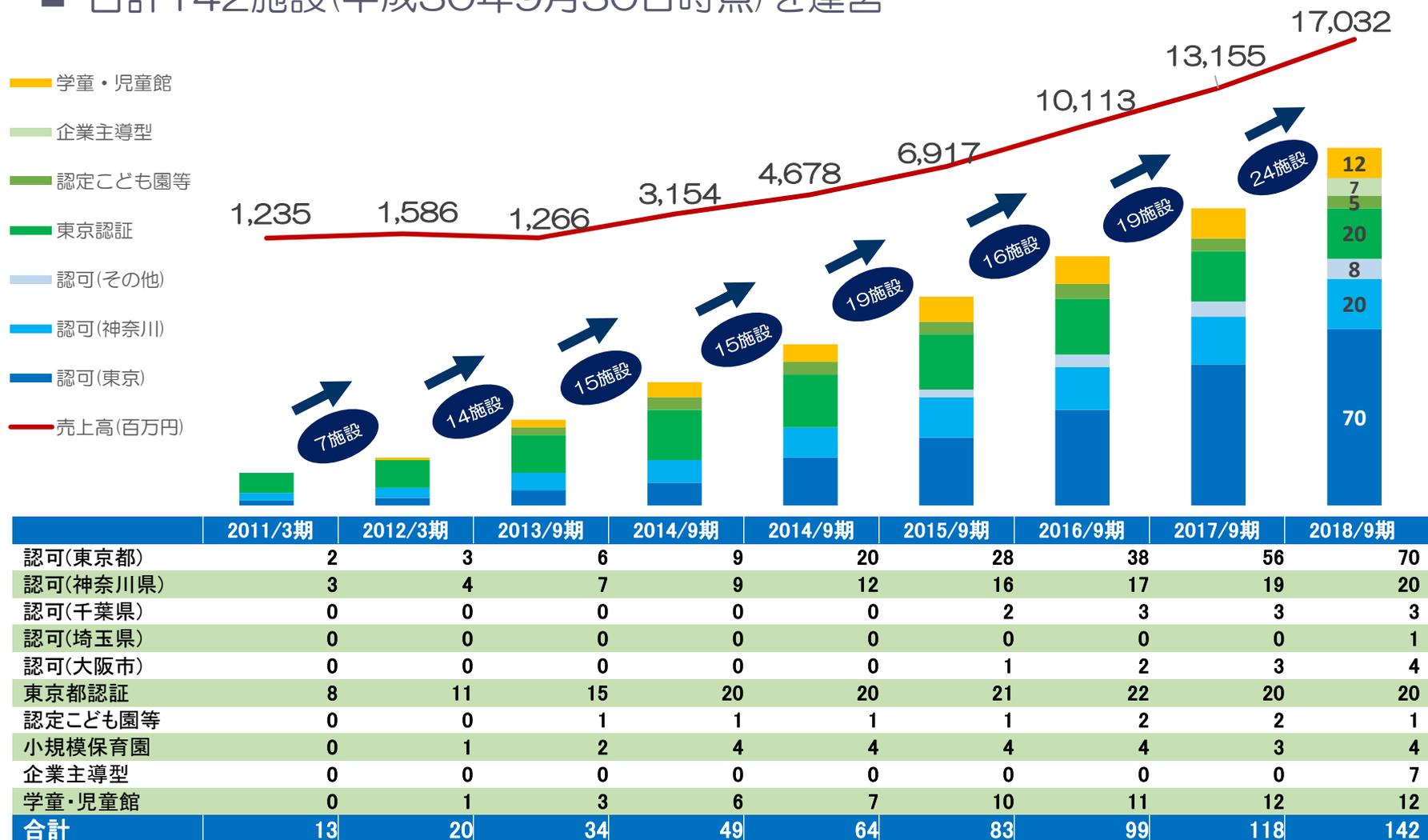
キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2017.9期	2018.9期
営業活動によるキャッシュフロー	1,963	2,028
税金等調整前四半期純利益	1,248	643
減価償却費	530	632
減損損失	228	1,268
未収入金の増減額(△は増加)	△184	△603
前払費用の増減額(△は増加)	△64	△20
前受金の増減額(△は減少)	31	△67
投資活動によるキャッシュフロー	△2,659	△2,963
有形固定資産の取得による支出	△2,376	△2,774
敷金及び保証金の差入による支出	△187	△206
財務活動によるキャッシュフロー	467	989
借入金及び社債の純増減(△は減少)	463	968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△227	55
現金及び現金同等物の期首残高	1,474	1,246
現金及び現金同等物の期末残高	1,246	1,301

運営施設数の推移

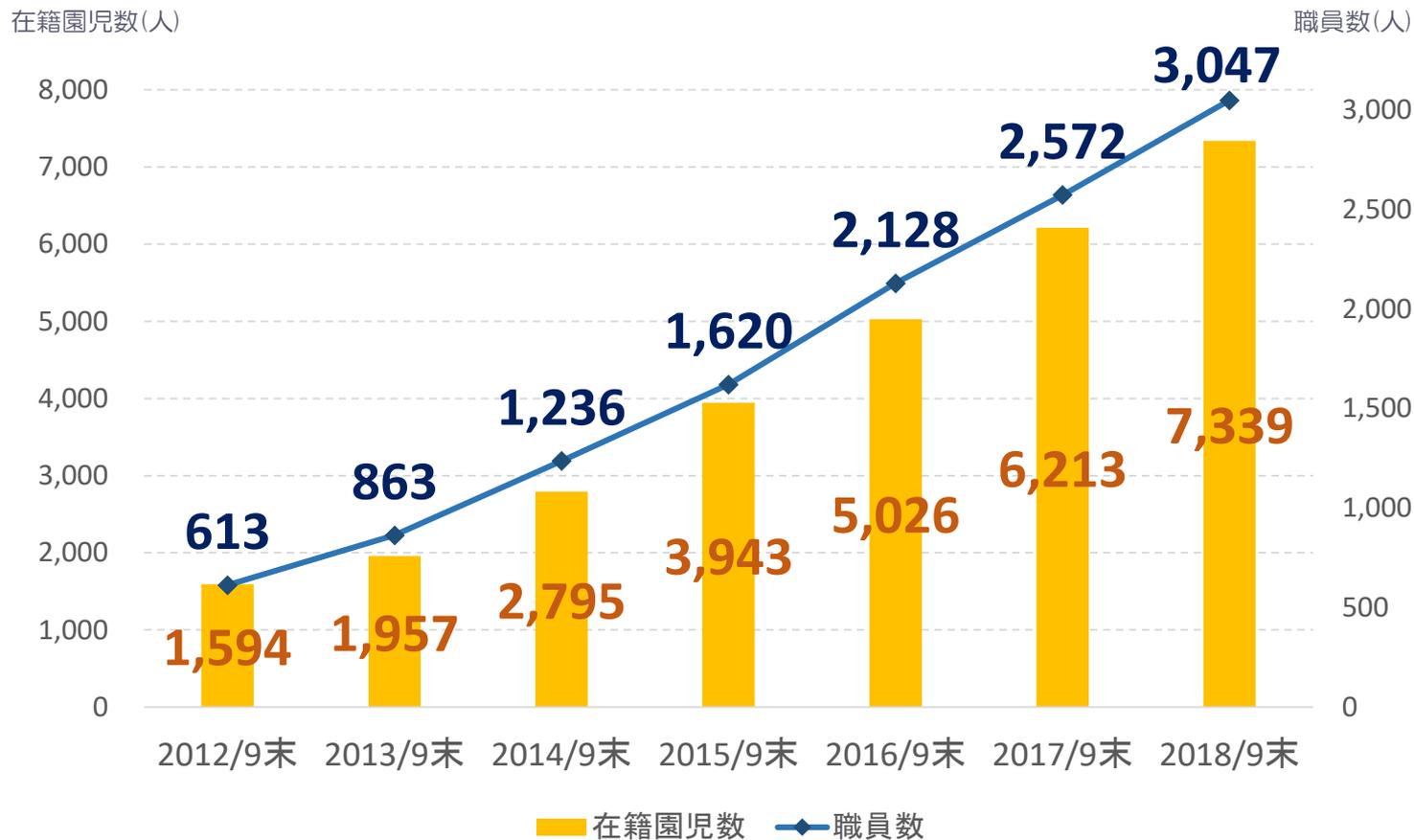
■ 合計142施設(平成30年9月30日時点)を運営



注：H27年9月期以前の売上高については(株)グローバルキッズ連結数値となります
 認定こども園等には小規模保育を含みます
 企業主導型には事業譲受したためばえ保育ルーム6施設を含みます

在籍園児数と職員数の推移

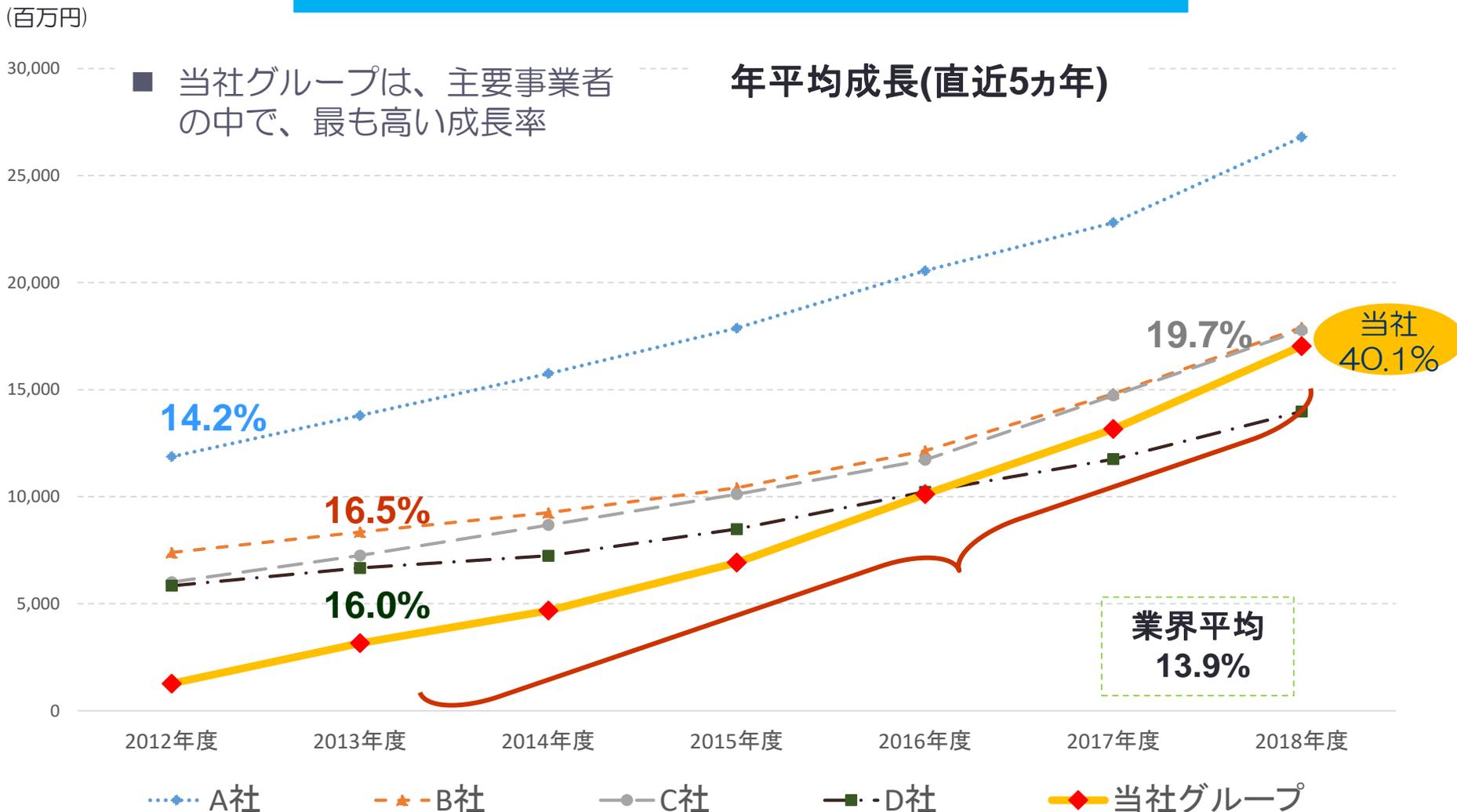
在籍園児数と職員数の推移



在籍園児数：学童クラブ・児童館に在籍する児童数は含まず
職員数：本部職員・パート職員等を含む

当社グループの直近5か年間の成長実績

主要保育事業者の売上高推移



出所：日経MJ資料より当社作成、業界平均は矢野経済研究所資料および日経MJ資料より算出注：当社2014年度以降は連結ベース、2012、2013年度は単体ベース

2019年9月期 業績見通し

2019年9月期連結業績予想

	2018.9期		2019.9期見通し		
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	前年比
売上高	17,032	100.0%	20,000	100.0%	17.4%
売上原価	14,703	86.3%	17,230	86.2%	17.2%
売上総利益	2,328	13.7%	2,770	13.9%	19.0%
販売費及び 一般管理費	1,990	11.7%	2,430	12.2%	22.1%
営業利益	337	2.0%	340	1.7%	0.6%
営業外収益	2,014	—	2,140	—	6.2%
営業外費用	435	—	550	—	26.3%
経常利益	1,917	11.3%	1,930	9.7%	0.7%
特別損益	△1,273	—	0	—	—
税引前 当期純利益	643	3.8%	1,930	9.7%	199.9%
法人税等	84	—	680	—	—
当期純利益	559	3.3%	1,250	6.3%	123.5%

2019年9月期 主な要因

[売上高]

- ◆ 新園売上高11.1億円、既存園売上高17.2億円増加
- ◆ その他（給食受託、コンサル事業等）で1.2億円増加

[売上原価]

- ◆ 2018年9月期に減損損失を計上したことで減価償却費が減少するものの、施設数拡大に伴う人件費増加により売上原価は増加見込み

[販管費]

- ◆ 販管費はIT投資や人材定着施策など将来に備えた投資を見込み、営業利益率は低下見通し

[営業外収益]

- ◆ 新園開発に伴う補助金収入や開発費用は新規開設園の増加によりやや増加する見込み

2019年9月期 新規開設・認可移行予定

- 2019年4月に22施設を開設予定、運営施設数は164施設へ
- 東京都認証3施設を認可移行予定

◆新規開設予定

所在地別		
所在地	開設予定数	想定定員数
東京都 23区	18施設	940名
神奈川県 横浜市	3施設	205名
大阪府 大阪市	1施設	80名
保育所：22施設		1,225名

形態別		
形態	開設予定数	開設後施設数
認可	17施設	115施設
企業主導型	4施設	11施設
事業所内	1施設	1施設

◆認可移行予定

現形態	認可移行予定数
東京都認証	3施設

※予定は変更されることがあります

当社の事業戦略

新社名（商号） 株式会社グローバルキッズCOMPANY

※現社名：株式会社グローバルグループ

目的：グループ全体でのブランド統一、ブランディング強化
※”COMPANY”は、「仲間」「人の集合体」の意味。

変更日：2019年4月1日
（2018年12月19日定時株主総会の決議を経て実施）

その他：2019年4月1日付で完全子会社の「株式会社ろく」を、
同じく完全子会社の「株式会社グローバルキッズ」が吸収合併
※2018年9月20日公表

引き続き、先行投資期間として位置付け、より「強い会社」を目指す

規模の 拡大

×

- ✓ 積極開園継続
 - 2019年4月に新規開設22施設
- ✓ 圧倒的な人財採用
 - 各種メディアを利用した、戦略的な採用施策
 - 業界大手で連携した人財採用構想
- ✓ 職員の定着率の向上
 - 職員を大切にした新人事制度の導入
 - 働き方改革・コミュニケーション活性化の推進

収益性の 向上

+

- ✓ 効率的な運営体制を再構築・推進
 - 運営基準および新規開設基準の再整備・最適化の推進
 - 事務業務の効率化などを実現させるBPR活動推進
 - 本社の施設支援体制の大幅な見直し

事業基盤の 強化

- ✓ 保育の質向上への取り組み加速
 - 保育ノウハウの統一・質の追求、人財育成機関の創設等
- ✓ 積極的な成長投資継続
 - IT投資(施設へのIT活用加速、自治体請求管理システムの開発等)
 - 新規事業(ベトナム、えんマッチ、発達支援事業等)

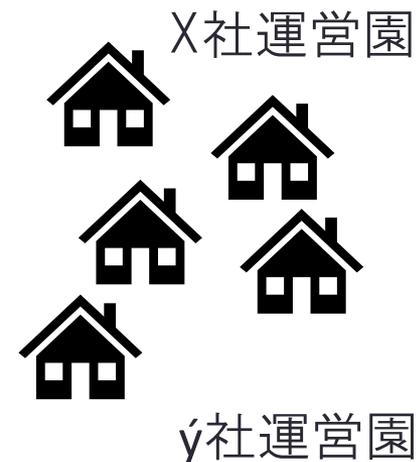
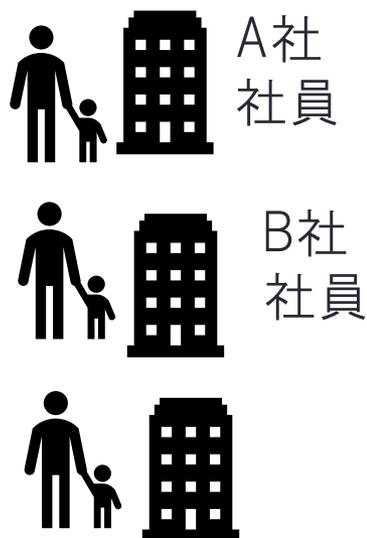
◆保育枠をシェアリング

- ▶ 各地域の企業主導型保育園をシェアして利用する“えんマッチ”サービスの全国展開をスタート

グローバルキッズ提携企業
約100社48万人

共同利用契約
保育園46園

N:Nモデルを出来るだけ多く
利用しやすいように展開



- ✓ 関東圏に続いて、東北（仙台）、中国（広島）、九州（福岡）等を展開

ベトナムでの取組みの進捗

◆2019年春より現地（ハノイ）の私立幼稚園で乳幼児向け保育サービスを開始予定

◆ ベトナムの市場環境

都市部を中心に急速に核家族化が進み、女性の社会進出が顕著

◆ 私立幼稚園（@ハノイ）との提携で2019年春からサービス開始予定



➤ ベトナム現地法人概要

社名： GLOBAL KIDS VIETNAM CO., LTD.

設立： 2018年7月25日

株主： グローバルグループ、SNB KIDDEN WORLD COMPANY LIMITED

事業内容： 未就学児教育（保育事業・チャイルドケア事業）

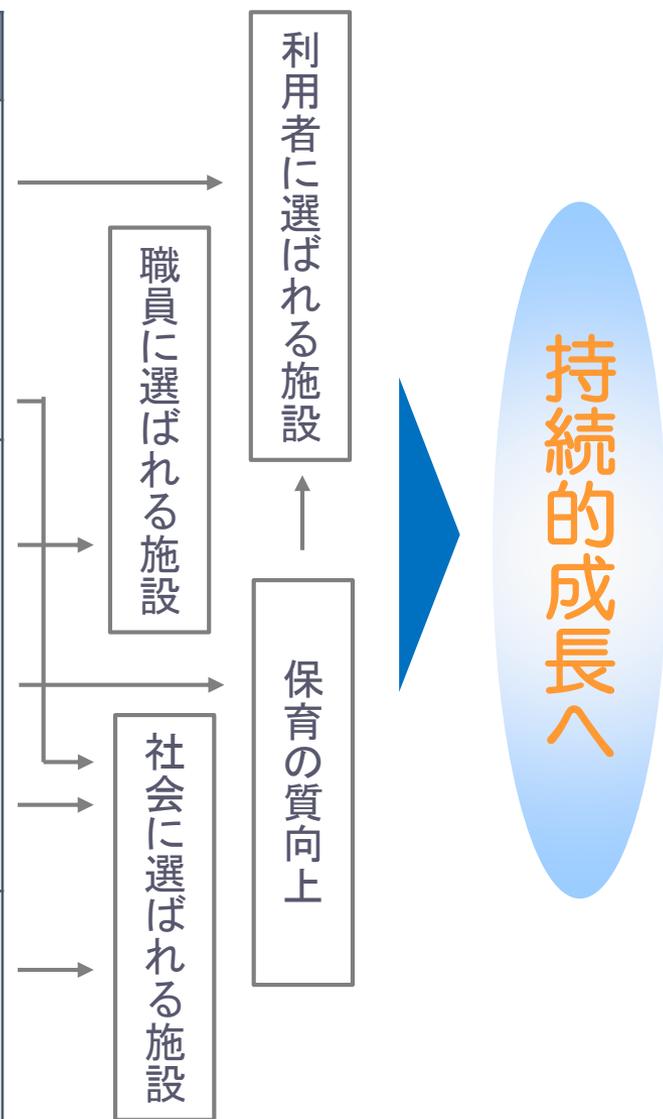


ESGへの取り組み

ESGへの取り組み — 持続的成長を可能とする源泉

企業価値向上に向けてESG活動を推進

項目	重要なESG課題	取り組みの例
環境 (E)	地球温暖化 自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 照明のLED化推進によりCO₂排出削減に貢献 ◆ 施設設備への国産木材の積極活用を通じ国内林業の活性化・森林保全に貢献 ◆ 内装にはホルムアルデヒドの放散が最も低いフォスター規格建材を使用
社会 (S)	女性社会進出 人財活用 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 毎年20前後の保育所開設により、女性の社会進出に貢献 ◆ 働きやすい環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輝き度調査 ・ 休暇取得促進制度 ・ 子育て応援 ・ 現場職員の処遇改善 etc. ◆ 保育のシェアリングエコノミーモデル“えんマッチ”を構築 ◆ 地域社会活動への参加
ガバナンス (G)	コーポレート・ガバナンス 内部統制 企業行動	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 独立社外取締役3名 ◆ 株式報酬制度導入 ◆ リスクマネジメント体制の構築 ◆ コンプライアンス研修(情報セキュリティ、反社、ハラスメント等)の実施





ご清聴いただき
ありがとう
ございました！

◆ ホームページ

www.globalg.co.jp/ 株式会社グローバルグループ公式サイト

<http://www.gkids.co.jp/> 株式会社グローバルキッズ公式サイト

<http://www.gk-recruit.jp/> 株式会社グローバルキッズ採用サイト

<https://www.facebook.com/Gkidsbook/> 公式フェイスブック

<https://www.instagram.com/globalkids/> 公式インスタグラム

https://www.instagram.com/global_kids/ 大好評マンガコンテンツ「グローバルキッズ！」

<https://twitter.com/globalkids> 大好評マンガコンテンツ「グローバルキッズ！」

